

デジタルで創る 暮らしやすいヨコハマ

くわしくは
2・3面へ

市長だより

横浜市は、2022年9月に「横浜DX戦略」を発表し、市民の皆様へ便利さを実感していただけるよう、デジタル化を進めてきました。当初は、スマートフォンやパソコンで申請できる行政手続きは全体の半数程度でしたが、現在では9割もの手続きがオンラインでできるようになっています。今後は、便利なオンライン手続きをもっと多くの方にご活用いただけるよう、市からの情報発信にも努めてまいります。

全国初の子育て応援アプリ「パマトコ」も進化中です。「離乳食を食べたくない」「口周りの湿疹が気になる」といった、子育て中の不安なことや子どもの健康に関する心配ごとを、医師等に無料で相談できる新たな機能が加わりました。妊娠中のご相談にも対応しています。また、授乳室やおむつ

交換台の有無など外出時のお役立ち情報や、親子で楽しめるイベント検索機能の充実も図っています。今後は、保護者の皆様からご要望の多かった、家庭から学校への書類提出、放課後預かりの出欠連絡、小学生の夏休み預かり中の昼食注文も、パマトコで手続きできるようになる予定です。

小中学生の教育においては、市内26万人の児童・生徒の学習データを活かして、一人ひとりに合った効果的な学びにつなげていくほか、海外の生徒とのオンライン交流などを通じて、多様性と国際性を育む取り組みも推進していきます。

生成AIをはじめ、最新技術は目覚ましい進化を遂げています。横浜市はこれからも、テクノロジーの力で、行政サービスをもっと使いやすく、市民の皆様へ寄り添ったものにしてまいります。

横浜市長 山中竹春

横浜市版

4面 移動しやすさを高めるまちづくり

各種手続・窓口案内
市営交通の案内など横浜市コールセンター（毎日8時～21時）
☎ 045-664-2525 ☎ 045-664-2828

横浜市コールセンター 検索

区役所の
開庁時間●平日8時45分～17時（祝日・休日・12月29日から1月3日を除く）
※昼の時間帯はお待たせする時間が長くなる場合があります。
●毎月第2・4土曜日 9時～12時
（戸籍課・保険年金課・子ども家庭支援課の一部の業務）横浜市データ
2025年
5月1日現在

人口 3,774,447人

世帯数 1,834,488世帯

横浜市 推計人口・世帯 検索

デジタルで創る暮らし

暮らしの手続き、デジタルでもっと便利に

手続きで役所に行くのが面倒、時間がない、そう感じた経験はありませんか？

横浜市では、市民の皆さまがスマホひとつで、いつでも・どこでも手続きができる環境を整えてきました。

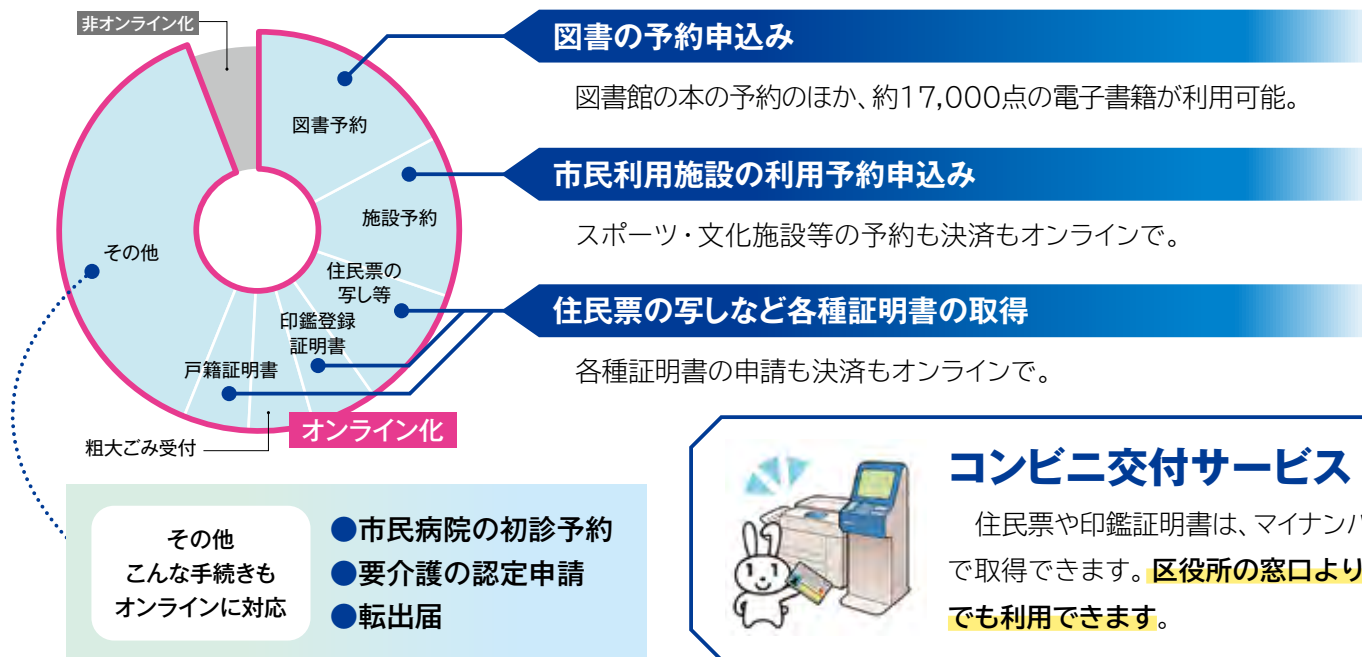
今では、市民の皆さまが市役所で行う手続きの9割がオンラインでできるようになっています。



詳しくは
こちら

横浜市のオンライン化の状況

(2023年度の件数ベース)



コンビニ交付サービス

住民票や印鑑証明書は、マイナンバーカードを使ってコンビニで取得できます。区役所の窓口よりも50円安く、開庁時間外でも利用できます。

子育てにスマホでゆとり時間を！

昨年スタートした横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」は、区役所での手続きがスマホでできるようになり、子育てに役立つ情報も届くなど、多くの方が利用しています。

パマトコ
YOKOHAMA

パマトコ利用状況

【総登録者数】
78,250人
(2025年3月31日時点)

2024年度に
妊娠・出産した
約38,000人のうち

**95%が
登録**

出産・妊婦健診
費用助成申請の
約50,000件
のうち

**99%が
パマトコから申請**

利用者の声

Before

- 平日区役所に出向いて混雑の中手続きするのは面倒
- 書類をたくさん郵送するのは大変！
- どんなイベントや手続きがあるのか調べないとわからない...

After パマトコ導入後

- 区役所に行かなくても申請できるのは子育て世代にとって本当にありがたい
- オンライン申請できるのはとても便利！
- 「パマトコ」があると、自分で調べる時間がかからず助かる

今できることはこちら！

- オンライン申請
- 妊産婦・こどもの健康相談
- 親子で楽しめるイベント検索
- 外出時のお役立ち情報検索

今後さらに使いやすく！

- 小学校や放課後預かりとの連絡
- 夏休みの預かり時の昼食注文

2025年度内に実施予定



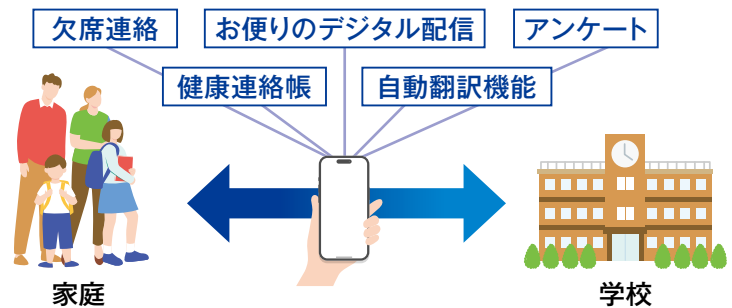
詳しくはこちら

やすいヨコハマ

教育DXで新しい学びの形を！

家庭と学校の連絡をもっとスマートに

朝の電話での欠席連絡や、学校からの紙でのお知らせが、スマホで完結。
市立の全505校で導入し、40万人以上の保護者が利用しています。
13言語への自動翻訳機能も。



ビッグデータが支える、一人ひとりに合わせた支援

一人一台のタブレット端末により、小・中学生26万人分のビッグデータを蓄積・分析。
学力調査の結果や、心身の変化に応じたきめ細やかな学びと学校生活をサポートします。

タブレット端末を児童が使用する様子▶



メタバースによる、場所にとらわれない学びと交流！



▲メタバース上での交流空間

市立のグローバルモデル校（みなとみらい本町小学校、西金沢学園、東高等学校）では、インターネット上の仮想空間（メタバース）を活用した海外の学生との交流を実施。今後は、全ての市立学校で、オンラインやバーチャル空間を取り入れた学びを広げて、より高い英語力や多様性を育みます。

小児がんで、登校や外出が難しい子どもたちの交流の場としてもメタバースを活用しています。



▲西金沢学園でのベトナムとの交流授業の様子

コラム

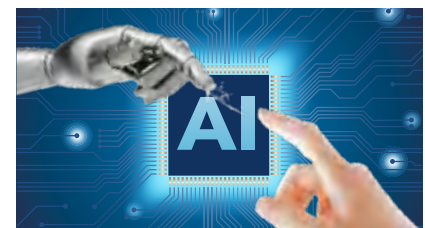
生成AIに聞いてみた！ 25年後の行政サービスってどうなる？



近年のAI（人工知能）の進化は目覚ましく、私たちの暮らしに、効率化と革新をもたらしています。
これからの未来の生活はどうか？ 生成AIに聞いてみました。

質問

自治体の手続きは急速にデジタル化が進んでいます。
25年後にどんな便利な未来が待っているか、予想してみてください。



パーソナルAIコンシェルジュ

住民一人ひとりにAIが紐づき、必要な支援や手続きを“通知”ではなく“提案”してくれる。

例 就学前の子どもがいると、保育園の空き情報や申請期限を事前に連絡

全手続きのAI自動化 & ノンストップ処理

引越しや出産など、住民のライフイベントを感知したAIが、必要な手続きを自動で実行。

例 引越し完了 → 新住所に応じた転入・転出・児童手当などを一括処理

ホログラム庁舎・バーチャル窓口

スマートグラスや部屋の壁面にホログラム（立体映像）で職員が出現し、まるで窓口にいるように相談できるように。

ユニバーサルアクセス対応

高齢者や障害のある方も、表情認識・音声・視線だけで手続きが完結。行政サービスに“アクセスできない人”が存在しない社会へ。

生成AIなどの最新技術は、今後も多くの活用が期待されています。

横浜市は、市民の皆さまの安心と暮らしやすさを第一に、
テクノロジーの力で、行政サービスをより便利に、より使いやすくしていきます。

移動しやすさを高める まちづくり

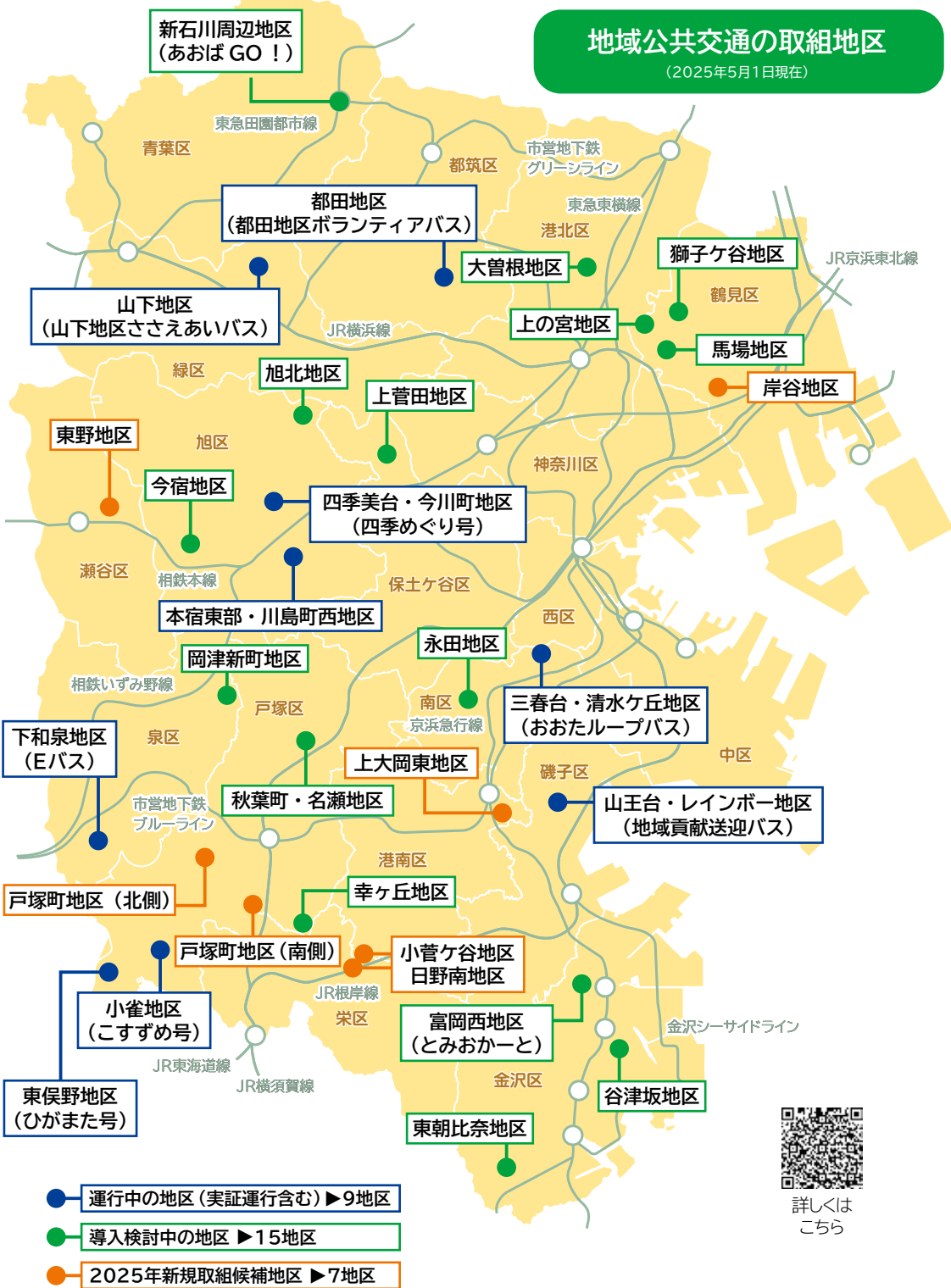
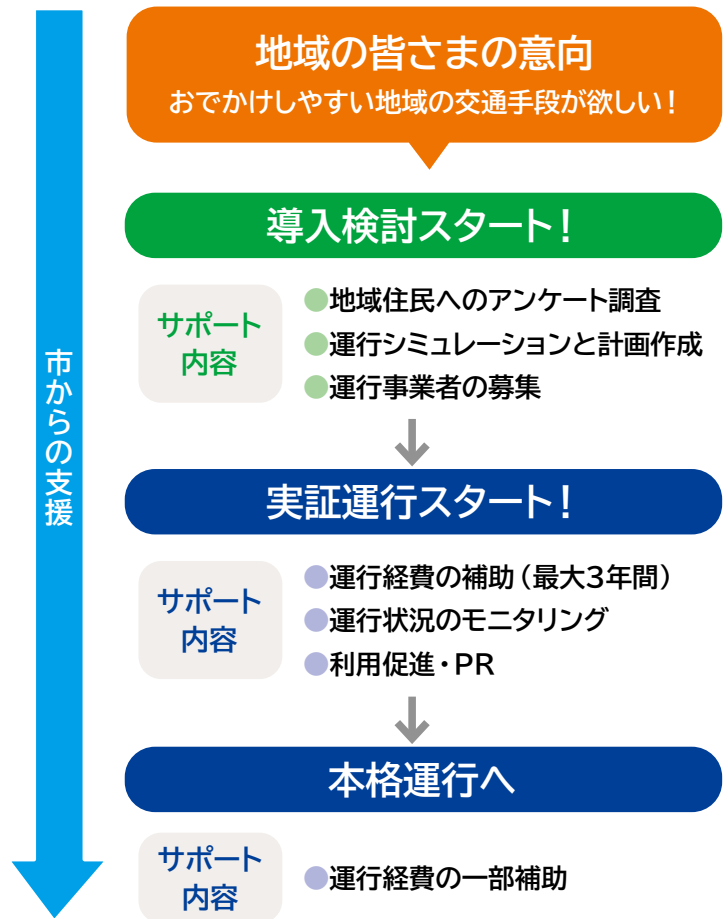


出かけたくなるまちへ。
移動しやすい環境と地域交通を充実させます。

横浜市は、地域の移動を
もっと便利にするための
サポートを始めました



詳しくは
こちら



詳しくは
こちら



10月開始 敬老パスで地域公共交通が利用できるようになります

10月1日から、一部地域で運行中のワゴン型バスなどが、敬老パスを使って、半額程度で利用できるようになります。

75歳以上で運転免許を返納された方は、10月から敬老パスが3年間無料になります。



詳しくはこちら



▲Eバス（泉区）



▲こすずめ号（戸塚区）



▲四季めぐり号（旭区）

問合せ 横浜市敬老パス問合せダイヤル ☎0120-206-160

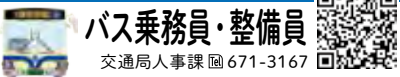
問合せ 地域公共交通について 都市整備局地域交通推進課 ☎045-671-3800 ☎045-663-3415
敬老パスについて 健康福祉局高齢健康福祉課 ☎045-671-2406 ☎045-550-3613

はま情報

今月11日以降の、市や外郭団体などが主催・共催の事業を掲載しています
市外局番は「045」です

募集

横浜市交通局職員募集



よこはま教師塾 アイ・カレッジ塾生募集

市立小・中学校の教員を目指す大学3年生など、選考100人。詳細は[WEB](#)で
申 7月11日まで
問 教育委員会教職員育成課（[Tel](tel) 411-0516 [Fax](tel) 411-0533）

訪問看護入門セミナー 参加者募集

訪問看護への就業を目指す潜在看護師・看護学生の基礎研修。選考30人。会場など詳細は[WEB](#)で
日 9月16日(火)9時30分～12時30分
申 6月30日まで
問 県看護協会（[Tel](tel) 263-2926 [Fax](tel) 263-2905）
か健康福祉局高齢在宅支援課（[Tel](tel) 671-2405）

「未来のよこはま」に関するこどもの声を募集

18歳以下のこどもを対象に「未来の横浜市がこんなまちになったらいいな」「将来はこんな生活をしていたい」など、意見やアイデアを募集。横浜市電子申請・届出システムから投稿を
日 6月2日(月)～30日(月)
問 政策経営局経営戦略課（[Tel](tel) 671-2010 [Fax](tel) 663-4613）

お住まいの区に関する意見・アイデアを募集

現在お住まいの区についての「こんなまちになったらいいな」「こんなことができればいいな」といった自由な意見・アイデアを募集。デジタルプラットフォーム「Surfvote（サーフボート）」から投稿を
日 6月11日(水)～7月10日(木)
問 市民局区連絡調整課（[Tel](tel) 671-2088 [Fax](tel) 664-5295）

福祉・高齢

横浜市職員募集

障害のある人 採用選考

【区分】事務・学校事務

【試験日】9月7日(日)

【受付期間】6月13日～27日

問 人事委員会任用課（[Tel](tel) 671-3347 [Fax](tel) 641-2757）



障害のある人

市会計年度任用 職員募集

2026年4月採用。詳細は6月2日から[WEB](#)で
日 選考日=7月26日(土)
申 6月27日まで
問 総務局人事課（[Tel](tel) 671-2173 [Fax](tel) 662-7712）

腎不全者のための栄養教室

参加者募集

透析患者の血圧と透析食の基本。当日先着100人
日 6月29日(日)13時30分～15時30分
所 健康福祉総合センター
問 腎友会（団体交流室内、[Tel](tel) 475-2061 [Fax](tel) 475-2064）か健康福祉局障害自立支援課（[Tel](tel) 671-3602）

ストーマ（人工肛門・膀胱）用装具の災害時用保管場所を提供

ストーマ用装具使用者、各区抽選30人。詳細は[WEB](#)で
申 6月30日まで
問 健康福祉局障害施策推進課（[Tel](tel) 671-3603 [Fax](tel) 671-3566）

盲特別支援学校「夏の相談日」

参加者募集

視覚障害児・者と関係者向けに、生活・学習・進路について対応。事前予約制
日 7月22日(火)～24日(木)・8月26日(火)・27日(水)の9時30分～16時30分
申 6月3日～20日に[Tel](tel) で会場の盲特別支援学校（[Tel](tel) 431-1629 [Fax](tel) 423-0284）

講演・講座

すい臓がん市民講演会 参加者募集

早期診断・発見の大切さを医師が解説。先着270人。詳細は6月2日から[WEB](#)で
日 7月3日(木)14時～15時30分
所 都筑区民文化センター
申 6月11日から
問 医療局がん・疾病対策課（[Tel](tel) 671-2721 [Fax](tel) 664-3851）

講演「心房細動について知ろう」

参加者募集

当日先着100人
日 7月1日(火)14時～15時30分
問 みなと赤十字病院（[Tel](tel) 628-6815 [Fax](tel) 628-6101）

「子どもの権利を考える」講座

参加者募集

先着50人。費用等詳細は7月1日から[WEB](#)で
日 9月～10月、全5回
所 青少年育成センター
申 7月1日から
問 よこはまチャイルドライン（[Tel](tel) 342-0255〈月・水・木曜の13時～16時〉 [Fax](tel) 342-0288）かこども青少年局こどもの権利擁護課（[Tel](tel) 671-4288）

介護職員初任者研修 参加者募集

介護職に就労希望か従事中で資格未取得の人。各選考40人。詳細は[WEB](#)で
日 ①7月5日(土)から、全17回②8月1日(金)から、全29回③9月1日(月)から、全17回
所 ①②ウィリング横浜③介護老人福祉施設ひだまり館
申 ①6月20日まで②7月14日まで③8月8日まで
問 横浜市福祉事業経営者会（[Tel](tel) 846-4649 [Fax](tel) 840-5816）か健康福祉局高齢健康福祉課（[Tel](tel) 671-3920）

盲特別支援学校 サマーセミナー

参加者募集

体験を通して視覚障害を学ぶ。各抽選20人。①小学4年生～高校生②教員。詳細は[WEB](#)で
日 7月24日(木)
①9時～11時30分②13時～15時30分
申 7月12日まで
問 会場の盲特別支援学校（[Tel](tel) 431-1629 [Fax](tel) 423-0284）

催し

劇団四季『アラジン』高校生招待

抽選計189人。詳細は[WEB](#)で
日 7月24日(木)・25(金)13時30分～16時15分
所 電通四季劇場[海]
申 6月17日まで
問 にぎわいスポーツ文化局文化振興課（[Tel](tel) 671-3714 [Fax](tel) 663-5606）



©Disney 撮影：荒井健

横浜市 歯と口の健康週間行事

オンライン開催

歯みがきで丈夫な体の基礎づくり。詳細は[WEB](#)で
日 6月1日(日)10時～7月31日(木)24時
問 健康福祉局健康推進課（[Tel](tel) 671-2454 [Fax](tel) 663-4469）

やってみよう!よこはま防災大作戦

防災関係の体験で防災意識と自助共助を啓発。詳細は[WEB](#)で
日 6月14日(土)10時～15時
問 会場の市民防災センター（[Tel](tel) 312-0119 [Fax](tel) 312-0386）

小学生のための港内見学会

参加者募集

小学生と保護者、各日抽選30組60人。詳細は[WEB](#)で
日 各9時20分～12時45分
自動車ふ頭コース=7月29日(火)
青果ふ頭コース=7月30日(水)
申 7月10日まで
問 横浜港振興協会（[Tel](tel) 671-7241 [Fax](tel) 671-7350）

子どもアドベンチャーカレッジ

参加者募集

体験学習を通して将来の仕事について考える。小学3～6年生、抽選。費用等詳細は6月19日から[WEB](#)で
日 8月5日(火)～8日(金)
所 市内の企業・団体の事務所ほか
申 7月4日まで
問 教育委員会生涯学習文化財課（[Tel](tel) 671-3282 [Fax](tel) 224-5863）

お知らせ

二十歳の市民を祝うつどい 開催

2005年4月2日～2006年4月1日生まれで、各区に住民登録している人へ12月上旬に案内状を送付。事前申込制

日 2026年1月12日(月・祝)
《10時30分》青葉・旭・神奈川・港北・都筑・西・保土ケ谷・緑区

《14時30分》泉・磯子・金沢・港南・栄・瀬谷・鶴見・戸塚・中・南区

所 横浜アリーナ

※当日はオンライン配信もあり。詳細は[WEB](#)で

問 教育委員会生涯学習文化財課（[Tel](tel) 671-3282 [Fax](tel) 224-5863）

国民健康保険料額についての

お知らせ

令和7年度保険料額決定通知書を6月中旬に発送。詳細は[WEB](#)で

問 居住区の区役所保険年金課か専用コールセンター（[Tel](tel) 577-4591 [Fax](tel) 577-4592〈6月16日～8月29日〉）

日 日時 **所** 場所 **費** 費用 **保** 保育 **申** 申込み **問** 問合せ **WEB** ウェブページ **往** 往復はがき **ハ** はがき **※要事項** 行事名・郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号・往復はがきは返信面を明記

市政へのご意見・ご提案

手紙 「市民からの提案」と明記し、居住区の区役所へ。市役所や区役所、公共施設に専用封筒もあります。
インターネット **市民からの提案** **検索**

広報よこはまをアプリやウェブで

広報よこはまは無料アプリ「カタログポケット」で閲覧できます。紙面や文字を拡大でき、記事内の二次元コードをタップするだけで、詳細ページがひらきます。音声読み上げや多言語にも対応しています。



広報テレビ・ラジオ番組（レギュラー放送のみ）

テレビ ハマナビ [tvk](#) **📡** 18:00～18:30
YOKOHAMA My Choice!
FMヨコハマ **📻** 9:30～10:00
ラジオ Public Service Announcement
inter fm 897 **📻** **📡** 12:55～12:58

令和7年度 個人市民税・県民税・森林環境税（第1期）

①納付期限②納付方法のお知らせ

①6月30日(月)まで。税額決定・納税通知書は6月2日発送予定②スマホ決済、クレジット納付、ペイジー納付、口座振替

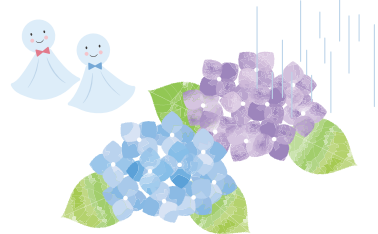
問 居住区の区役所税務課か、財政局
①税務課 (Tel) 671-2253 (Fax) 641-2775)
②徴収対策課 (Tel) 671-2255 (Fax) 641-2775)

ひきこもり相談専用ダイヤル

月～金曜の9時～17時（12時～13時、祝休日除く）。専用ダイヤル (Tel) 752-8400)
問 健康福祉局ひきこもり支援課 (Tel) 752-8463 (Fax) 664-0403)

市立図書館の休館

全館=6月16日(月)
中央・移動図書館=6月17日(火)～19日(木)
栄・瀬谷・中・南=6月24日(火)～26日(木)
泉・港南・鶴見・緑=7月1日(火)～3日(木)
磯子・港北・保土ケ谷=7月8日(火)～10日(木)
問 中央図書館 (Tel) 262-7334 (Fax) 262-0052)



施設から

みなとみらいホール

反田恭平 ピアノリサイタル2025
日 11月30日(日)19時～21時
費 7,000円・9,000円
申 6月14日10時から Tel) か WEB) で
問 Tel) 682-2000 (Fax) 682-2023

横浜市歴史博物館

展示「横浜の文化財」part2伝承
日 6月14日(土)～7月27日(日)
費 1,000円
問 Tel) 912-7777 (Fax) 912-7781

開港資料館

展示「長崎-開港都市横浜の前提」
日 7月27日(日)まで
費 500円
問 Tel) 201-2100 (Fax) 201-2102

人形の家

展示「たたかいと人形」
日 7月21日(月・祝)まで
費 700円
問 Tel) 671-9361 (Fax) 671-9022

ヨコハマの海を感じよう！

海洋都市横浜 うみ博2025 開催

海の魅力を伝える体験型イベント「うみ博」。いきもの観察やシミュレーター体験の展示ブースや、ものづくり体験のワークショップ、普段は見ることができない船の見学など、楽しいコンテンツがいっぱいです。人気のフェリー乗船体験もあります。

【日時】7月12日(土)・13日(日)10時～17時

【会場】大さん橋ホール、大さん橋ふ頭周辺、象の鼻パーク



詳しくはこちら



問合せ うみ博運営事務局 Tel) 050-1752-5450（月～金曜10時～17時〈土日祝・休日を除く〉） Mail) umi-haku@actindi.net

戸籍にフリガナが記載されます

フリガナ通知のハガキが届いたら必ず確認を！

戸籍法の改正に伴い、2025年5月26日から戸籍の氏名にフリガナが記載されるようになります。フリガナが記載されたハガキが届いたら、必ず内容を確認してください。

横浜市に本籍がある人には、7月頃、ハガキを発送予定です。横浜市外に本籍がある人は、その市区町村からハガキが届きます。



詳しくはこちら

フリガナが間違っている

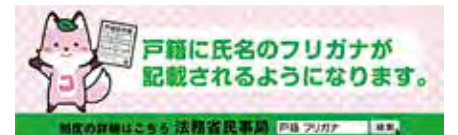
➤ 手続きが必要です。

➤➤➤ 2026年5月25日までに、正しいフリガナの届出をしてください。

フリガナが正しい

➤ 手続きは不要です。

問合せ 横浜市振り仮名コールセンター Tel) 0570-045-267（月～金曜9時～17時〈土日祝・休日を除く〉） Fax) 045-664-5295



海、港、緑、歴史、地域、人々、さまざまな魅力を持つ都市横浜。この街の彩りを「よこはま彩発見」としてお届けします。今回は、横浜開港記念日をめぐる物語です。

横浜開港記念日をめぐる物語

ペリー提督が率いる黒船が来航し、日米和親条約などの締結を経て、1859（安政6）年に横浜港が開港し、貿易が始まりました。もともとは東海道沿いの神奈川が開港の候補地とされていましたが、水深も十分あり、港として優れていた横浜の地が選ばれることになりました。

翌年の1860（万延元）年には、現在の中区弁天通付近にかつてあった横浜洲干弁天社の祭礼が開港1周年を祝って盛大に催され、その後も毎年大祭が行われたことから、開港記念日の起源とされています。

開港記念日にちなんださまざまな催しがこの横浜では実施されていますが、市民祭である横浜開港祭は、1981（昭和56）年にスタートし、例年、港に感謝し、市民と共に6月2日の横浜の開港記念日をお祝しています。

過去を遡ると、開港50周年にあたる1909（明治42）年には、全市をあげて祝賀式が大々的に行われました。式典では、



横浜市歌が初めて披露されるとともに、記念事業の一つとして、ハママークと呼ばれ親しまれている横浜市徽章も定められました。

キングの塔（県庁本庁舎）、クイーンズタワー（横浜税関）とともにジャックの塔と呼ばれ、横浜三塔を構成する横浜市開港記念会館は、開港50周年を記念して、市民の寄付金により1917（大正6）年に開館したものです。横浜を象徴する代表的な建造物の一つとなっており、1989（平成元）年には国の重要文化財に指定されています。

横浜は、西洋文化の玄関口と言われるように、ガス灯、鉄道、郵便制度のほか、アイスクリーム、パン、ビール工場など、横浜が発祥の地とされているものが数多くあります。開港記念日を機に、165年に渡る港の歴史と先人の業績に敬意を表しつつ、これからの横浜の発展を願い、横浜の歴史や文化に触れてみませんか。

◀横浜市開港記念会館

問合せ 政策経営局広報・プロモーション戦略課 Tel) 045-671-2332 Fax) 045-661-2351

さらに詳しい話は
こちら



対象者には案内が届きます

帯状疱疹ワクチンの定期接種が始まります

帯状疱疹ワクチンが定期接種の対象となり、接種費用が助成されます。
対象者に、6月下旬に案内を発送します。

【接種期間（2025年度）】2025年7月1日(火)～2026年3月31日(火)

【対象者】横浜市に住民登録があり、次のいずれかに該当する人

- ①2026年4月1日時点で 65、70、75、80、85、90、95、100歳の人
- ②100歳以上の人（2025年度のみ）
- ③接種日時点で 60歳から64歳の人で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に1級相当の障害がある人

【対象ワクチン・自己負担額】
いずれかを選択してください。

市から接種費用の
半額程度を助成します。

	接種回数	助成後の自己負担額※
生ワクチン	1回	4,000円
組換えワクチン	2回	合計20,000円

※市民税非課税世帯の人などは、自己負担免除となります。

【実施医療機関・接種予約方法】

接種の実施医療機関、接種予約方法等詳細については案内及び
ウェブページでお知らせします。



【問合せ】横浜市予防接種コールセンター（月～金曜9時～17時〈土日祝・休日を除く〉） ☎045-330-8561 ☎045-664-7296

対象者には案内が届きます

65歳からの健康づくり ハマプロで元気な毎日を

「ハマプロ」はフレイル[※]対策として横浜市が実施する介護予防プログラムです。
ヨコハマの医療や健康のプロが、健康づくりをサポートします。

案内が届いた人は、ぜひご参加ください。

※加齢による心身機能の低下などの影響で、介護が必要になる可能性が高まった状態

こんな人が
対象です

以下の両方に該当する人に「ハマプロご招待券」や「参加確認票」が届きます。

- 対象区にお住まいの65歳から84歳の人
- 健診やフレイルチェックで体力の低下や栄養状態が心配される人

【対象区（2025年度）】旭区、泉区、磯子区、港南区、栄区、瀬谷区、鶴見区、中区、西区、南区



どんなことをするの？

利用料は
無料

●スポーツクラブ等での参加

約2か月間のグループプログラム、
医療専門職等による運動・栄養・お口
等の健康講座を実施。

●個別相談・家庭訪問など

健康状態や生活習慣に応じた個
別相談を実施。

【問合せ】居住区の高齢・障害支援課 または 健康福祉局医療援助課 ☎045-671-2409 ☎045-664-0403

急増する風水害に要注意 安全を守る行動を確認しましょう

近年、気候変動の影響で、河川などからあふれてしまうような突発的な豪雨などが増え、全国各地で被害が多発しています。いざという時に備え、自分や家族を守る行動を確認しましょう。

浸水ハザードマップを確認しましょう

自宅や職場周辺の河川の氾濫などの危険性を確認しましょう。浸水ハザードマップでは、洪水・内水・高潮の危険性が確認できます。



避難行動計画を作成しましょう

避難方法、避難時の持ち出し品を事前に確認し、自分自身の避難行動計画（マイ・タイムライン）を作成しましょう。



川の様子は絶対見に行かないで！

大雨による増水の様子はウェブで確認！



詳しくはこちら

大雨に備えた河川づくり

横浜市では、近年の突発的な豪雨などに備えた河川づくりを進めています。また、日ごろから航空写真やAI技術を活用した、洪水の原因となる土砂堆積の把握や除去など、安全な河川の維持管理に役立てています。



▲土砂堆積を除去している様子

【問合せ】浸水ハザードマップ、マイ・タイムラインについて 総務局地域防災課 ☎045-671-3456 ☎045-641-1677
横浜市水防災情報、河川づくりについて 下水道河川局河川流域管理課 ☎045-671-2857 ☎045-664-5873

YOKOHAMA
GO GREEN

環境にやさしい行動をはじめよう!

横浜の魅力的なSTYLEを発信!

地球1個分で暮らそう

STYLE 100

CITY OF YOKOHAMA

たくさんの人が、地球にやさしい未来を目指して行動する横浜市。「地球一個分で暮らそう STYLE100」は、そんな活動を紹介し、新しい暮らしを共に考えるプロジェクトです。

STYLEを知って、身近なことから試したり、参加したり、誰かに話したり。そんな輪を広げていきませんか?

地球1個分の暮らしとは?

地球1個分の資源では足りないと言われる、私たちの暮らし。今後もかけがえのない地球1個分で、幸せに過ごせる暮らし方を目指します。



ゾウが竹を食べて里山を再生!?

金沢動物園では、周りに広がる広大な緑地を活かして、森を荒廃させてしまう竹林の竹を伐採し、その竹をゾウのおやつに。さらにゾウの糞は園内^{たいひ}で堆肥にし、動物園の花壇へ活用するなど、資源やいのちを循環させる取組をしています。

また、子どもたちと外来種のザリガニを捕獲し、共にいのちについて学ぶ光景も広がっています。

そのほかにも、地球にやさしい新たなSTYLEを続々と発信しています。

瀬谷区で!



GREEN×EXPO 2027開催地を花で盛り上げる高校生のプロジェクト。

みなとみらいで!



日本有数の醸造所エリアで、廃棄されるモルト粕を循環利用。

青葉区で!



寺家ふるさと村の保全プロジェクトの「その先」へ。

みなとみらいで!



正しい分別で、ペットボトルをペットボトルへリサイクル。

中華街で!



食べ残しを持ち帰る文化「ダーパオ」でフードロス減らす。

金沢区で!



小学校にある天然の自然のあそび場で、学びながら森を守る。



InstagramでみんなのSTYLEを続々公開中!



詳しくはこちら

問合せ 脱炭素・GREEN×EXPO推進局 GREEN×EXPO推進課 TEL 045-671-4627 FAX 045-212-1223



横浜市LINE
公式アカウント

市・区からのお知らせを受け取れるほか、図書館の蔵書検索や道路の損傷通報などのサービスを利用できます。



発行

政策経営局広報・プロモーション戦略課
横浜市政府 〒231-0005 中区本町 6-50-10

TEL 045-671-2332 FAX 045-661-2351
TEL 045-671-2121 (代表)